

おとさだ
乙貞

第 201 号 通巻 35 巻 第 3 号
平成 27 (2015) 年 10 月 1 日 発行

守山市立埋蔵文化財センター
TEL/FAX 077-585-4397

〒524-0212
守山市服部町 2 2 5 0 番地

収穫の秋を迎えました。ひと昔前では、今時分が稲刈り最盛期でしたが、現在は早稲品種が多勢となり、市内各所では、米の収穫も一段落といった状況です。本年度、近畿農政局発表の作柄概況は、湖南地域で、ほぼ平年並みと見込まれております。これから食卓には「キヌヒカリ」「秋の詩」などの新米がはじめるので、味わうのが楽しみです。昔の人たちが新米を食べる時はどのような心もちだったのでしょうか。厳しい自然環境のうえに、機械や電力がなかった時代、今以上に喜びやありがたさを感じていたものと思います。

さて、市内での開発などに伴う発掘調査の概況をお知らせします。

発掘調査だより

1 下之郷遺跡の発掘調査

下之郷遺跡 98・99 次調査

昨年度から実施していた下之郷史跡公園の東側水田地の内容確認調査(98・99次調査)は9月で終了しました。

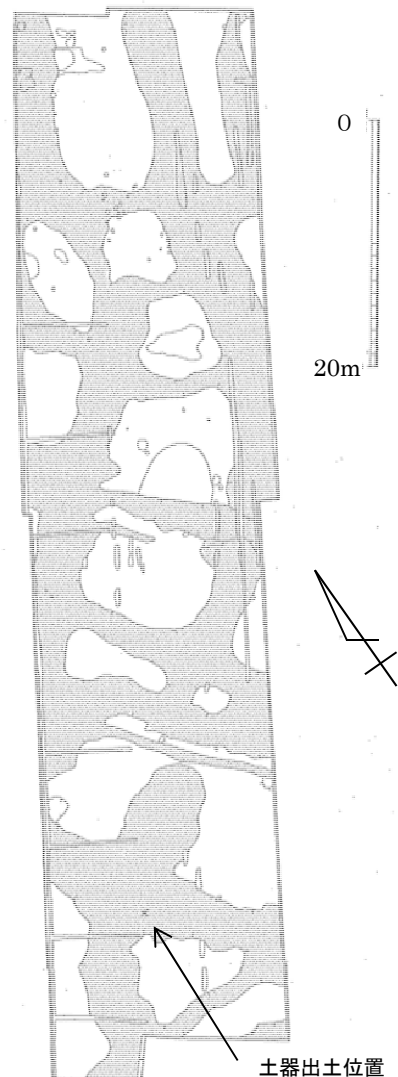
約 2,000 m²の対象地からは 弥生時代中期とみられる南北方向の溝 3 条、それと連結する東西方向の溝、土坑などを確認するなど、この地点には溝が集中していることがわかりました。南北方向の溝はいずれも途中で細くなったり、途切れたりするなど、ムラを囲むと考えられる 3 条環濠とはやや様子が異なっており、環濠とは別の性格や用途を今後考える必要があるのかもしれ



▲検出した大溝の調査状況



▲出土した弥生土器 甕



▲下之郷遺跡 98・99 次調査全体図

ません。上の写真は溝から出土した完形の甕です。溝が埋没する途中で、逆さまの状態では埋まったと考えられます。弥生時代中期末頃の年代とみられ、下之郷遺跡が衰退し、隣接する二ノ畦・横枕遺跡が成立し、盛行する時期の土器と考えられます。(小島)



▲今回の調査位置図（下之郷遺跡全体図）

2 金森遺跡の発掘調査

9月14日に金森町字東町において個人住宅建築工事に伴い発掘調査を実施した結果、現在の地表から約90cm下から井戸跡が発見されました。見つかった井戸は、掘形直径1.8m程で、瓦や石が円形に積まれていました。また石材の中には五輪塔の一部が転用されているのが確認されました。

隣接地の調査成果から、中世後期の時期と推定され、隣接する金森城遺跡との関連も考えられます。(小島)



▲金森遺跡で見つかった井戸跡

3 播磨田西遺跡の発掘調査

9月末から播磨田町字蔵垣内において、店舗建築に伴う発掘調査を実施しています。現在は、遺構検出中ですが、直径20cm程度の柱穴が検出されています。次号で報告したいと思います。(伴野)



今回掲載した発掘調査の位置図

トピックス

◎「大庄屋諏訪家屋敷まつり」開催されます

開催日：10月31日（土）、11月1日（日）午前10時～午後3時（2日目は2時まで）
開催場所：大庄屋諏訪家屋敷（守山市赤野井町） 見学料：無料
開催内容：《イベント》詩吟、大正琴、コーラス、漫才、玉津文化の歴史ウォーク、玉津昔のお話語り。《展示・啓発》農村文化の展示、諏訪家屋敷の写真、玉津学区のホタル調査展示、ブライアン・ウィリアムズ氏の銅板画展示

◎「伊勢遺跡まつり」が開催されます

開催日：11月1日 午前9時15分～午後2時30分
開催場所：伊勢町地先の史跡地内に造成された広場
開催内容：伊勢遺跡調査成果パネルの展示、伊勢遺跡建物群のジオラマ模型や竪穴住居のモデル展示、火おこし、発掘体験、模擬店など。

◎「下之郷遺跡まつり 2015」が開催されます

開催日：11月15日（日） 午前10時～午後3時

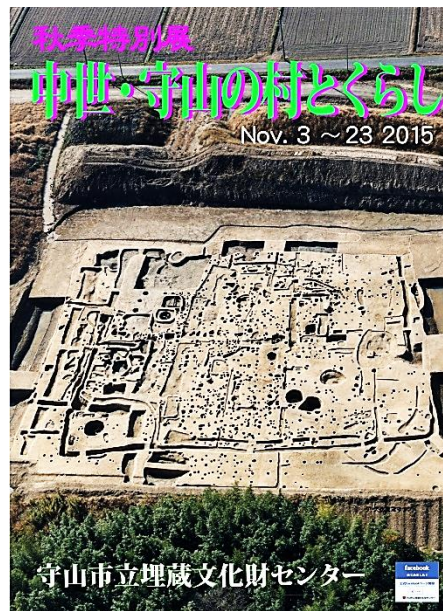
開催場所：下之郷史跡公園（下之郷一丁目地先）

開催内容：《ステージ発表》下之郷遺跡キッズクラブ「GO kids」活動報告、赤米づくり体験発表（吉身小学校6年）、若鮎保育園5歳児演技、吉身幼稚園5歳児演技、和太鼓ほたる団の演奏、守山琵琶湖よし笛アソビの演奏。 《ふるまい》しし鍋
《体験コーナー》よし細工、機織り、カゴ編み、魚釣り、弓矢、模擬店など。

お知らせのコーナー

◎ 埋蔵文化財センター「秋季特別展」を開催

- 1 開催テーマ 『中世・守山の村と暮らし』
- 2 開催趣旨 中世とは、朝廷から武士に政治の主導権が移った平安時代末(11世紀後半)から安土桃山時代(16世紀後半)までのおよそ500年間を指しています。中世の戦国武将や城、戦いなどには、多くの人々の関心が注がれる反面、その当時の村の様子や庶民の生活は意外と知られていません。しかし昨今、現集落のはじまりや地域の社寺仏閣に伝わる伝統行事、あるいは信仰などのルーツが中世後期に求められる例が多いことがわかってきました。今回の特別展は、現在につながる中世の守山の村、人々のくらしぶりを理解していただくことを目的に開催いたします。
- 3 開催期間 平成27年11月3日(火・祝)から11月23日(月・祝)まで
- 4 開館時間 午前9時から午後4時まで(期間中無休)
- 5 展示内容 石田三宅遺跡/長塚遺跡/横江遺跡/欲賀・欲賀南・欲賀城遺跡/播磨田城遺跡/二町鏡遺跡/伊勢遺跡等出土遺物等、これまであまり展示されていなかったものも、この期間限定で展示されています。どうぞご観覧ください。
- 6 その他 展示替え等のため11月24日(火)から12月9日(水)までの期間を休館とします。



【後記】秋到来。各地で、まつりや展覧会等行事が目白押しです。それぞれ似たような内容もありますが、「御当地もの」と言われる食べ物やその地ならではの手作りものに出会えると、嬉しい気持ちになります。その感覚は遺跡見学や展示企画でも同様で、その地の風土に固有なものに出会えると、見に来てよかったと満ち足りて帰ります。今年も趣向あるモノ・コトに出会えることを期待しています。

今号は、調査や業務の状況等により発刊が遅れてしまいました。記してお詫び申し上げます。(編集子K)